

市の動向を、タイムリーに掲載します

東京2025デフリンピックPRイベントを実施

11月15日(土)に開幕する東京2025デフリンピックの機運醸成を目的として全国を巡回するPRカーが、9月26日(金)に市役所へ来訪しました。市長による応援メッセージや市内在住の女子デフサッカー代表、東海林香那選手による大会への意気込みが手話で語られ、最後はPRカーを背景に記念撮影を行いました。



問合せ スポーツ振興課へ ☎2946-8738

いりそ次世代支援センターに池原昭治氏が絵画を寄贈

市内在住の童絵作家・池原昭治氏がいりそ次世代支援センターに絵画を寄贈し、10月2日(木)にお披露目会が行われました。当日は入曽保育所のこどもたちによる、お礼の言葉と歌が贈られました。



問合せ 入曽保育所へ ☎2958-6347

さやま市民大学のトークイベントを開催

10月からリニューアルし、開講したさやま市民大学コミュニティデザイン学部(トライアル)の取り組みとして、トークセッションを開催しました。



市内で活動する3名が登壇者となり「リアルとオンラインからまちに関わる」をテーマに、まちづくりへの思いなどを語りました。

問合せ さやま市民大学へ ☎2968-6885

災害時物資輸送訓練を実施

10月20日(月)、災害発生時に県から備蓄食料などの支援物資が配給されたことを想定して、市内の備蓄倉庫への輸送訓練を実施しました。輸送は市と「災害時における物資等の輸送に関する協定」を締結している埼玉県トラック協会が担当。保管した食料(乾パン100箱、アルファ化米72箱、レトルトかゆ23箱)は災害時に備える食料となる他、11月16日(日)の狭山市総合防災訓練などでも活用されます。



問合せ 危機管理課へ ☎2968-6527



題字・絵 池原 昭治氏

市長の主な動き

○10/2…総合計画審議会 ○10/7…さやま市民大学の開校式 ○10/8・22…定例庁議 ○10/10…市と自治会連合会幹事との懇談会 ○10/15…特殊詐欺・振り込め詐欺防止啓発活動 ○10/17…戦後80年狭山市戦没者追悼平和祈念式典 ○10/19…第45回商工祭 ○10/27…入間基地への要望活動

英霊を偲び恒久平和を誓う

明治維新によって日本は近代国家の道を歩み始めました。当時は欧米列強によってアジア諸国が次々と植民地化される中、先人たちは現代と比較にならない程、大きな危機感を抱きながら、自国の独立と安全を守ろうとしてきました。その結果、いくつかの大きな戦争を避けることはできず、多大な犠牲が強いられました。日清戦争終結から130年、日露戦争終結から120年、そして先の大戦終結から80年。2025年は近代日本が戦った戦争の終戦の節目にあたりますが、今日では戦争の経験者はもち

ろん、ご遺族の方も年々減少傾向の一途を辿っています。

数年前、鹿児島県の知覧特攻平和会館を訪れました。特攻によって散っていった多くのご英霊の遺書には家族、友人、自分の生まれ育った故郷を守ろうとする切実な思いと次の世代が平和に暮らせるようにとの願いが記され、涙なくして読むことができませんでした。

先月行われた、狭山市戦没者追悼平和祈念式典ではご英霊たちの尊い犠牲に感謝すると同時に、恒久平和を次の世代に伝え、つなげていくことを誓いました。

狭山市長 小谷野 剛